

2期8年、さいたま市は大きく変わりました 市民とともに、「幸福度No.1※」を実現!

※日本総合研究所編「全47都道府県幸福度ランキング2016年版」の「政令指定都市幸福度ランキング」

健全な財政力 × 市民の幸福度 × 都市の成長力

01 **少ない借入金** (市民1人当たり) **第2位**

さいたま市は市民1人当たり34.3万円。政令市平均(63.8万円)の約半分です。
※政令市の平成27年度普通会計決算から市債残高の比較

02 **減らした借入金** **226億円**

市の借入金を示す「市債残高」を、6年間(平成21~27年度)で大幅に削減しました。
※臨時財政対策債を除く。臨財債とは、国が地方交付税特別会計の財源が不足した場合に、その穴埋めに地方公共団体自らに地方債を発行させる制度。形式的にはその自治体が地方債を発行するが、償還に要する費用は後年度国から地方交付税で措置される。

03 **財政力指数** **第3位**

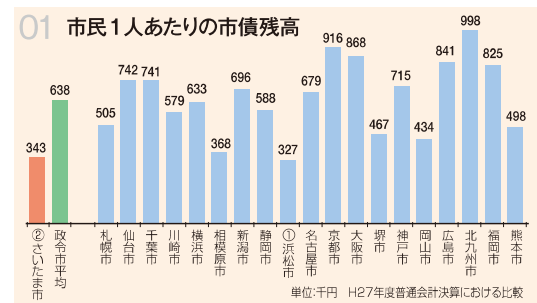
財政力指数とは、標準的な行政を行うためのお金を自ら賅える割合。
※順位は政令市比較(平成27年度普通会計決算)

04 **見える改革** **情報公開ランキング** **第1位**

市長就任時(平成21年)は17政令市で最下位でしたが、平成24年にはベスト1に!
※全国オプスマン連絡協議会発表
※順位は政令市比較

05 **見える改革** **公民連携ランキング** **第1位**

日経BP社の格付けで96.51点、「AAA」を獲得しました。(平成27年)



06 **生む改革** **財源創出額** **1280億円**

2期8年で405億円の歳入増効果、875億円の歳出削減効果を生みました。1期目約680億円、2期目約600億円です。

07 **生む改革** **区役所の窓口満足度** **97.7%**

身近な区役所改革の成果です。区役所へ来られた方に窓口満足度を調査したところ、平成27年度には97.7%に。

08 **人の改革** **職員の年間改善提案数** **36倍増**

サービスの向上・仕事の効率化に関する職員の改善提案数が大幅に向上しました。市長就任前(平成20年)はわずか398件でしたが、平成27年には年間1万4424件に。36倍以上になっています。

09 **人の改革** **職員の満足度** **76.0%**

市長就任直後(平成22年)の62.4%から平成28年には76.0%へ、13.6ポイント上昇しました。

10 **人の改革** **女性幹部登用率** **第1位**

女性の幹部(課長相当職以上)登用率は19.3%で、政令市の中で第1位です。
※平成28年4月 内閣府調べ
※順位は政令市比較

11 **全20政令市幸福度** **第1位**

日本総合研究所編「全47都道府県幸福度ランキング2016年版※」の「政令指定都市幸福度ランキング」の結果です。
※全47指数を基本指標として5分野(健康、文化、仕事、生活、教育)、10領域に分類したランキング

12 **「住みやすい」** **過去最高** **83.2%**

平成19年から9.2ポイント上昇して、平成28年は過去最高になりました。
※さいたま市民意識調査(平成28年)より

13 **住みよさランキング** **総合評価5年連続 BEST3**

平成20年の13位から平成24年にはベスト2へ。以来5年連続で3位以内にランキングしています。
※東洋経済新報社「都市データバック」より

14 **元気に暮らす** **健康寿命** **第3位(男性)**

健康寿命とは、健康上の問題がない状態で日常生活を送れる期間のこと。女性は第6位です。
※厚生労働省調べ
※順位は政令市比較

15 **認可保育園等の定員数** **約1.9倍**

市長就任前の平成20年と平成29年を比較すると、定員数は約9千人増の1万9388人で、約1.9倍にもなっています。

16 **救急医療** **拡充**

▼JCHO埼玉メディカルセンターに新病棟(平成26年)
▼自治医科大学さいたま医療センターの増強(平成28年)
▼さいたま赤十字病院、県立小児医療センターのさいたま新都心への移転・拡充(平成29年)
▼さいたま北部医療センターの建替・拡充(平成31年予定)
▼市立病院の建替、救急救命センターの設置(平成31年予定)

17 **子育て・教育** **充実**

▼学力トップレベル(政令市、埼玉県、全国)
▼「夢や目標を持つ」「学校が楽しい」「自分にはよいところがある」子どもの割合が全国平均を大幅に上回る
▼政令市唯一!自校式給食を市立の全小中学校で実施
▼政令市第1位!図書館の数(25館)
▼政令市第1位!図書館の人口1人当たりの貸出数

18 **チャレンジスクール** **ボランティア** **約5万人**

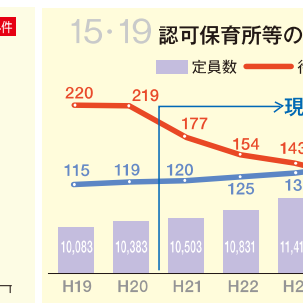
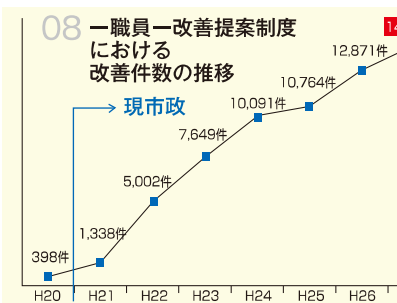
全小立小中学校で実施している放課後・土曜チャレンジスクールには約19万人の児童生徒が参加。ボランティア約5万人のみなさんに支えていただいています。
※人数はすべて延べ数

19 **認可保育園等の施設数** **約2.6倍**

市長就任前の平成20年と平成29年を比較すると、施設数は185施設増の304施設で、約2.6倍にもなっています。

20 **自主防災組織率** **92.2%**

市長就任前(平成20年)と比較して、平成28年度末には自治会ごとの自主防災組織の組織率が8.9%上昇しました。



市民生活重視の予算編成!

24 **民生費** **約1.8倍**

市長就任時(平成21年度)は1085億円でしたが、平成29年度は1914億円に。他の予算が横ばい、または減少している中で約1.8倍、829億円増やしました。
※平成29年度予算「民生費」

25 **子育て支援** **関係費** **約2.1倍**

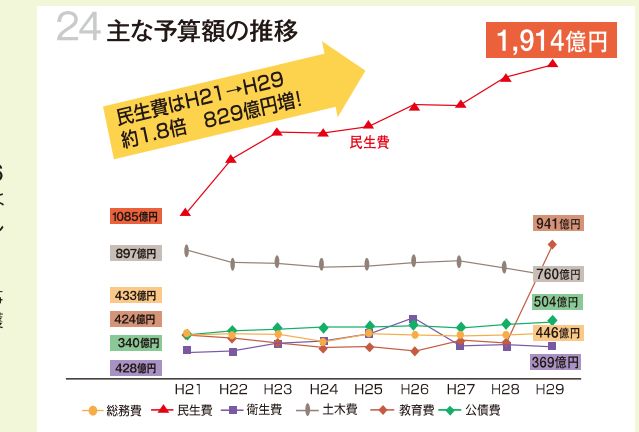
市長就任時(平成21年度)は394億円でしたが、平成29年度は824億円に。430億円増やしました。
※平成29年度予算「児童福祉費」

26 **障がい者** **福祉関係費** **約1.9倍**

市長就任時(平成21年度)は169億円でしたが、平成29年度は314億円に。145億円増やしました。
※平成29年度予算「障害者福祉費」

27 **高齢者福祉** **関係費** **約1.6倍**

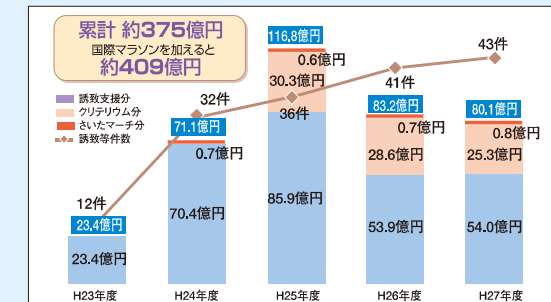
市長就任時(平成21年度)は716億円でしたが、平成29年度は1114億円に。398億円増やしました。
※平成29年度予算
※老人福祉費、介護保険費、老人保健事業特会、後期高齢者医療事業特会、介護保険事業特会を含む



全国初の **さいたまスポーツコミッション**

年間の経済効果 **80~120億円**

これまでの経済効果は約375億円。さいたま国際マラソンを加えると約409億円にもなります。



※平成28年度	経済波及効果	広告換算額
さいたま国際マラソン	40.7億円	4.4億円
さいたまクリテリウム	29.1億円	9.2億円

※掲載した数値は、四捨五入しているため公式発表と異なることがあります。

※H27より小規模保育事業等が加わる